

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和2年度学校評価計画

達成度(評価)	
A	: 十分達成できている
B	: おおむね達成できている
C	: やや不十分である
D	: 不十分である

1 前年度 評価結果の概要	<p>・唐津市教育委員会が勧めている「学力向上アクションプラン」に則って、「本時のめあての提示」「パーソナル・グループ・クラスワーク」「ふりかえり」という流れの授業展開が、ほとんどの学級でできてきている。しかし、県の学力調査では、ほとんどの領域で県平均を下回っており、更なる授業力向上に努めていく必要がある。</p> <p>・避難訓練等では、受け身的な動きで、自分で判断して行動できていない児童が多い。令和2年度は、国の「学校安全総合支援事業」の災害安全の指定校となっていることもあり、自分の命は自分で守れるよう、主体的に判断して行動できる児童の育成が求められる。</p>
2 学校教育目標	『21世紀を生きる力』を育む子ども ～自ら学び高め合う、たくましく心豊かな外町っ子を育てます！～
3 本年度の重点目標	<p>①「学力向上」→「がんばった」「できた」「ほめられた」という体験をつまみながら、学習意欲を喚起するとともに、「わかる授業」「楽しい授業」を展開し、学力向上を図る。</p> <p>②「災害安全への意識の高揚」→授業等での安全教育の場、避難訓練等の安全指導の場を生かし、災害安全に対する児童の意識高揚を図る。</p>

4 重点取組内容・成果指標				中間評価		5 最終評価				主な担当者	
(1)共通評価項目				進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	最終評価		学校関係者評価		
評価項目	重点取組内容	成果指標(数値目標)	具体的取組				実施結果	評価	意見や提言		
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上	・校内研修等でマイプランの活用方法を共有する場、達成状況を確認する場を設け、取組の促進を図る。							学力向上対策コーディネーター	
	○学習内容の定着に向けた分かりやすく楽しい授業の実践	○授業に関するアンケート(「授業が分かりやすいか」「授業が楽しいか」)において肯定的な回答をした児童80%以上	・授業の終わりや単元の終わり等に、学習のふりかえり(「学習内容が分かったか」「学習は楽しかったか」)の時間を設ける。 ・「がんばった」「できた」「ほめられた」と児童が感じる場を設ける。							学習部	
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○道徳に関するアンケートにおいて肯定的な回答をした児童80%以上	・「自己肯定感の高まり→自他への思いやり」につながる年間を通じた人権集会を複数回設定する。 ・道徳に関するアンケートを実施する。							道徳教育推進教師 人権・同和教育担当者	
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○いじめ防止等について、組織的な対応ができていると回答した教員90%以上	・毎月1回、いじめの早期発見につながるアンケートを実施する。 ・毎週1回、気になる児童の情報共有の時間を設定する。							生活部	
	◎自らの夢や目標の実現に向けて努力する気持ちを高める教育活動	◎自らの夢や目標の実現に向けて努力しようとしたと回答した児童80%以上	・授業や学校行事等を通して、児童が夢や目標について自ら考える時間を設ける。 ・活動のふりかえり(「目標を達成するためにがんばったか」)の時間を設ける。							特活部	
●健康・体づくり	●安全に関する資質・能力の育成	●児童生徒の交通事故を0(ゼロ)にする	・各学級で、毎日下校する前に、交通事故に気をつける話をする。 ・低、中、高学年の実態に応じた、交通安全教室を開催する。							生活部	
	○災害安全への意識の高揚	○災害安全に対して、自分の命を守るために、自分で判断し、行動しようと思う児童90%以上	・災害安全に関する教職員向けの研修会と児童に対する講演会を行う。 ・児童が自ら考えてより良く動く避難訓練を実施する。							研究主任	
	○体力の向上	○運動に関するアンケートにおいて肯定的な回答をした児童80%以上	・体育委員会によるチャレンジコーナーやジョギングタイム等を設定するとともに、「さがんキッズスポーツチャレンジ」を推奨する。 ・長縄や竹馬など、児童の活動意欲を高めるための場や道具を準備する。							保体部	
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在職等時間の上限を遵守する。	・金曜日に定時退勤日を設定する。 ・月曜日～木曜日の最終勤務時間のめやすを示す。 ・内容を精選し、会議の回数や時間を減らす。							管理職	
	○業務改善への意識の向上	○1年間で業務改善を3つ以上行う。	・学期に1回、一人一つ、業務改善案を考える場を設定する。							管理職	
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標(数値目標)	具体的取組				実施結果	評価	意見や提言		
○特別支援教育の充実	○教員の特別支援教育への意識の向上と支援のあり方の理解	○特別な支援が必要な児童への支援のあり方が理解できた、またはだいたい理解できた教員90%以上	・特別支援教育に関する研修会を実施する。 ・教育支援委員会を通して、情報共有を行う。							特別支援学級担任	

●...県共通 ○...学校独自 ◎...志を高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	<p>・</p> <p>・</p>
--------------------	-------------------